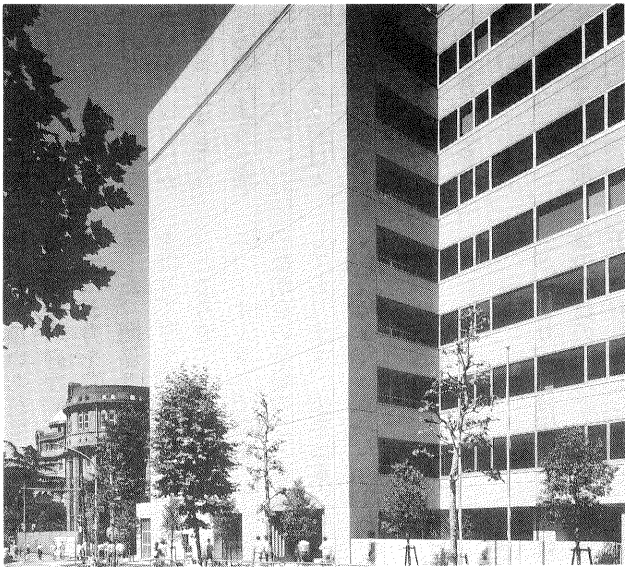


# 育くまれた10代の友情こそ心の安らぎ



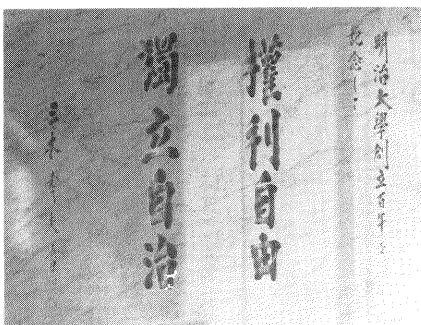
11月21日(土)午後6時～  
明治大学創立100周年記念大学会館  
会費 5000円

第23回目の総明会総会と懇親会が11月21日(土)に開催されることになりました。今年のホスト役は、旧雨会(昭和34年卒同期会)です。会場は母校近くの明大創立一〇〇周年記念大学会館8階大ホール。会費も五〇〇〇円と、参加しやすい金額とし、全員に記念品を配布します。イベントとして、同期のアントニオ・古賀君を中心に、懐かしい思い出の曲を歌ってくれることになっています。

## 第23回総明会総会・懇親会

- |                       |                        |
|-----------------------|------------------------|
| <b>総会</b><br>(司会者 江澤) | <b>懇親会</b><br>(司会者 岩崎) |
| 一、開会の辞 小林副会長          | 一、開宴の辞 ホスト学年           |
| 一、会長挨拶 坂本 会長          | 一、乾杯 片岡名誉会長            |
| 一、会務報告 卯木専務理事         | 一、アントニオ古賀とマンクラ         |
| 一、会計報告 大場会計理事         | 一、O・Bによる「ミュージックショウ」    |
| 一、監査報告 館野監査           | 一、来期ホスト学年紹介            |
| 一、議 事 議長 卯木専務         | 一、校歌斉唱                 |
| 役員改選の件                | 一、閉会の辞 向殿常任理事          |
| 来賓祝辞 保坂明高校長           |                        |
| 後藤明大理事長               |                        |
| 島田明大総長                |                        |

(8時30分終了予定)



〈写真上〉総明会総会の会場となる大学会館。60年8月に完成した多目的会館で、博物館や食堂、診療所などがある。

「権利自由・独立自治」  
校歌にも唱われている本校建学のスピリットのひとつ。総明会場の大学会館一階ロビーには、明大校友の元首相・三木武夫氏の揮毫による大理石のレリーフがある。(左)

## 懐しの古賀メロディーを 楽しもう アントニオ古賀と マンクラOB出演

当会の事業は総会を開く事と新聞を発行するのが主体です。それが学年持廻り制がとられており、学年によってそれぞれの特色が出てきます。ややもするとエスカレートしがちになり、本来の同窓会よりはなれがちの傾向がみられました。今回はその点を注意して出来るだけ多くの会員の皆様に出席していただける様に、会費は五〇〇〇円とし、今まで出来なかった当日出席者全員に記念品として総明会オリジナルネクタイを贈ります。

旧制明中、明高の同窓が一堂に集まり、旧古を温める。時は一刻一刻変化していつていきます。

### 恩師と語り

### 旧友を探す楽しみ

この記念すべき会場で懐しの古賀メロディーを聞き、それぞれの思い出を語りあい、許される時間内で、楽しいひと時をもとうではありませんか。

なお、当日は現役の先生方、退職された先生方等大勢招待していますので、賑かで盛大な会

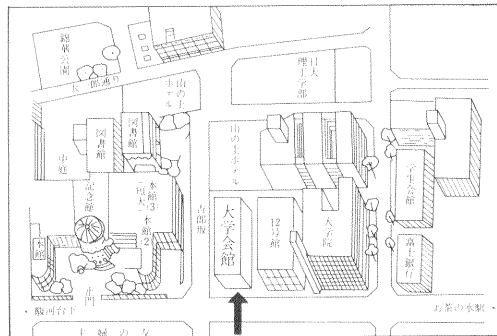
### 〈お願い〉

- 一、時間前に到着された方は、6階校友談話室、1・5階ロビーで開会までお待ち願います。
- 二、駐車場がございませんので、電車等をご利用ください。
- 三、同期会が組織されていない学年の参加者の方は、ホスト学年まで、ご出欠を知らせてください。

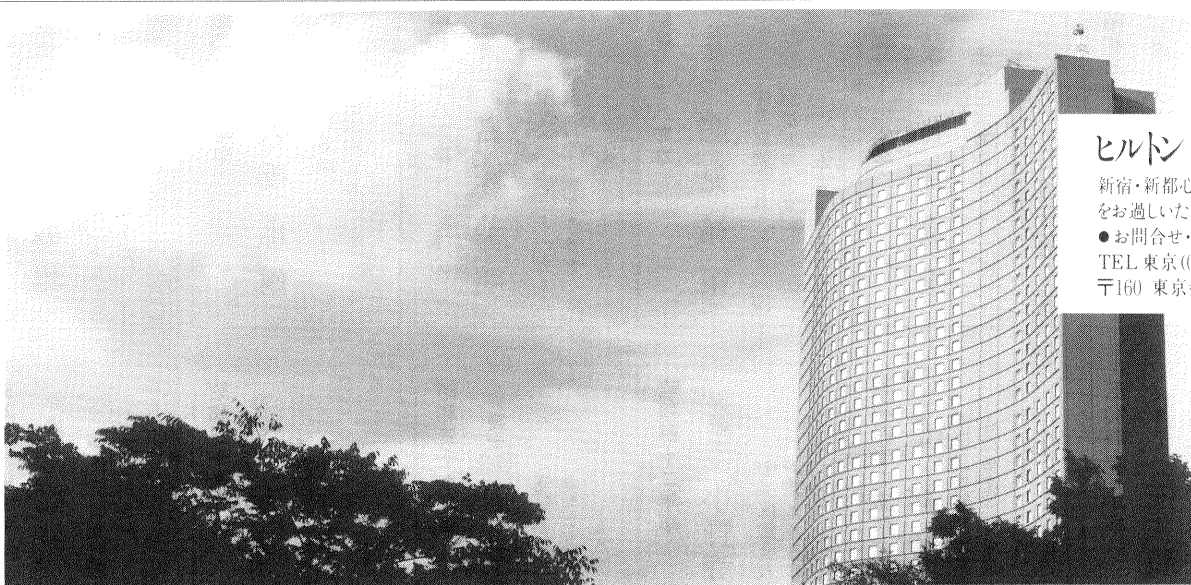
## ご出席の先生

(敬称略・50音順)

- |       |       |       |       |       |       |       |       |       |      |      |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |    |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|
| 吉田 貞男 | 山脇 信彦 | 村野 圭吾 | 水落 八郎 | 三田 行男 | 松本理三郎 | 松枝 正弘 | 保坂 吉彦 | 樋山 正士 | 野呂 賢 | 則 茂雄 | 田村 晴彦 | 谷口 善三 | 田中徹太郎 | 清水 紀夫 | 桜井 正美 | 境田 啓一 | 後藤 朋智 | 木村 雄治 | 金井 照治 | 近江 吉明 | 栗野 哲也 | 雨宮 芳久 |    |
| 技芸    | 理科    | 英語    | 体育    | 国語    | 数学    | 体育    | 社会    | 理科    | 数学   | 理科   | 国語    | 英語    | 社会    | 数学    | 社会    | 体育    | 理科    | 英語    | 理科    | 社会    | 社会    | 理科    | 理科 |



学年同士で誘い合い、また同伴者と一緒にぜひご参加ください。



## ヒルトン ホテルならではのおもてなし、くつろぎ。

新宿・新都心の東京ヒルトンは、38階建842室。レストランやバーで楽しいひとときをお過ごしいただけるほか、結婚式、ご宴会など幅広くご利用いただけます。

- お問合せ・ご予約は、  
TEL 東京(03)344-5111、大阪(06)344-4511、福岡(092)451-4511へどうぞ。  
〒160 東京都新宿区西新宿6丁目6番2号

大阪ヒルトンホテルが、1986年9月10日より  
大阪・梅田にオープンいたしました。

## 東京ヒルトン ホテル

このところ毎年、年毎に総明会も充実して来て、会長としても大変よろこばしく思っております。それだけにホスト学年の御苦労も大きいのではないかと一抹の危惧を感じております。何卒御無理なさらないようお願いいたします。とは云うものの、二十回だ、三十回だと云う節目々々の年度に多少のハメを外すことは会員の皆様もお許し頂けるのではないかと考えておりますので、そのような考え方を幹事会等で発言していることを冒頭御報告しておきます。

検討して頂いた結果、今年は明治大学側の御理解を頂き、会場設営にお力を借りることが出来ました。関係者の皆様にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。ところで、今、去年のホテルニューオータニでの第二十二回の総明会の会場のことを思い出しております。去年は東京サミ

総明会の会場には明るいダンス音楽が流れて来ました。校友の高橋伸寿君のお世話で、沢田英二カルテットの演奏でした。只会場中央に設けられたダンス用の空間には、はじめは多少の遠慮からか、マバラでしたが、やがて一組、二組と数を殖やして行きました。

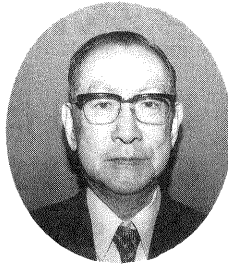
コートの襟立てで出掛けた記憶があります。勿論、まさか旧制中学の頃ではありません。早稲田の第一学院の学友巖谷大四君にさそわれてのこと。その後は休講時に喫茶店に入っているも検査される「学生狩り」にエスカレートして行く。したがって、われわれの年代は案外ダンスが踊れないなんて野暮が多い。考えように依つては怖い話です。

今年、ホスト学年の同期生アントニオ古賀君が、歌とギターで参加者を楽しませてくれるという事です。大学の施設ですから、ダンスは踊れないでしょうが、話は出来る筈。

これも毎年云うように、年一回の集いですから、せめて心ゆくまで語り合おうではありませんか。世を越えた、楽しい会話を期待します。

それこそ晩秋のひとつときを。

## 総会によせて



総明会の皆様には益々ご健で、各界各分野でのご活躍を、心よりお慶び申し上げます。

総明会の皆様が無事母校を支援して下さっていることに心より感謝いたしております。

特にクラブ活動のコーチや監督を熱心に行ってください、且つ合宿等にも多勢参加して、後輩の面倒をみていただいております。改めて会報を通して厚く御礼を申し上げます。

私共は皆様のご支援とご期待に応えるべく、尚一層の努力をいたす所存であります。

さて私共は、明治大学の付属

校として、本校出身者が明治大学学生の「核」となり、大学の名声を高めるべき推進者でなければならぬと考えております。

しかし残念ながら、現時点では必しも満足すべき状況ではありません。この点私共は深く反省いたすと共に、この願いを実現すべく、推薦制度の見直しと、

更には個性豊かな人物の育成を目指すとして教育課程の見直しと再検討をいたしております。

更にまた生徒諸君に「明治スピリット」の注入に力点を置きたいと考えます。近年はいわゆる輪切教育の余波をうけ、本校の建学の精神や校風に憧憬を抱いて入学した生徒は必しも多く

はないのであります。また一般論として、私学の精神が風化しつつあると言われております。これは私学にとつて大変な問題で、私学教育の理念が風化したことを意味します。本校には明治の「いのち」である独立自治の精神と伝統に培かれた質実剛健の校風があります。これらは人

間形成に関わる内容で、生徒達の将来「生きる」精神にまで普遍化されたものであります。私共は建学の原点に立ち、その具現化に尚一層努め、二十一世紀に生きる人物の基礎を固めねばならないと考えます。

総明会の益々のご発展と、皆様のご健勝を祈念いたすと共に母校のため、今後共尚一層のご支援ご協力をお願いいたします。

ご承知の通り、近代教育の推進には本校の校舎施設等は満足いく状況でなく、本校の将来計画を含めて、抜本的な施設の改善が必要であります。空間的にも物理的にも余裕のある施設やグラウンドを持ち、生徒全員が特別活動に参加し、飛び跳ね体力を鍛え、思索し合い、特性や関心、趣味を深め、より豊かな個性を磨きあげる「道場」が欲しい。これは諸先輩の先生方の時代より久しく持続した願いでもあります。

幸い学校法人明治大学の深いご理解と、ご努力によりまして、その構想が着々と進められ、近い将来その全貌が公にされるものと確信いたしております。

総明会の益々のご発展と、皆様のご健勝を祈念いたすと共に母校のため、今後共尚一層のご支援ご協力をお願いいたします。

明治中学・高等学校

## 明治大学の「核」となる生徒の養成に全力を

校長 保坂吉彦

保坂先生のご経歴

明治中学・高等学校

保坂吉彦

保坂先生のご経歴

明治中学・高等学校

保坂先生のご経歴

昭和二十二年卒

昭和二十八年卒

昭和三十一年卒

昭和三十三年卒

昭和三十一年卒

昭和三十三年卒

昭和三十七年卒

昭和三十九年卒

昭和三十七年卒

昭和三十九年卒

昭和四十一年卒

昭和四十三年卒

昭和四十一年卒

昭和四十三年卒

昭和四十六年卒

昭和四十九年卒

# OB2話

## 卒業生活躍

### テレビで大活躍 五木田武信くん

昭和三十一年三月、明高を卒業し明治大学商学部に入學。四年間放送研究会で活躍した。昭和三十三年明治大学を卒業後、NHKに入り高知放送局を振出しに、京都放送局などでその名を全国に広めた。昭和四十七年フリーとなり、主にTBSテレビ



「朝の700」等で茶の間の人気を得、現在も同局の街角テレビの司会で活躍している。明高在学中は「笠原健司」の芸名で東宝の青春スターとして、夏木陽介らと競いあった。「授業中に、東宝の黒塗りの車が迎えに来て級友の羨望の目の中で撮影場に行くのはなんとも気持ちよかった。授業以外の事でのびのびと育ててくれた当時の明高の校風に感謝している。」と語ってくれた。今一番自分に欲しいものは「時間。」やりたいことは「ゴルフ。」座右銘は特になんないが強い言葉。「一生懸命」という言葉。在校生に一言という問いに「物事短かいレンジで考えないで、長いレンジで考え、目的意識をもって行動せよと伝

### 本物のミュージシャン 伊東貞行くん（アントニオ古賀）

歌は世に連れ、世は歌に連れ正に芸能生活二十八年、エンターティナーとして、ギターを片手に大活躍している伊東貞行君。アントニオ・古賀を御紹介します。彼は八才からクラシックギターを阿部保夫氏に師事、その後、古賀政男先生に師事されて、ラテン音楽を学ぶ。彼は中学一年の時から学芸祭（明大記念館講堂）で、ソロにて演奏し、その音楽的センスは抜群であった。勉学にも一生懸命であった。高三最後の行動評価で



「秀」をもらうなど優秀な学校生活を過ごした。その彼は卒業（三十四年）すると同時にコロムビアレコードに入社、当時トリオロス・パンチオスが来日しており、ラテン調が流行、そのラテンリズムを取り入れて、芸名を「アントニオ・古賀」と披露。尚トリオロス・パンチオスから賜られた「その名はフジヤマ」が大ヒットして、世にその名を知らしめた。それにより昭和三十六年日比谷公会堂にて、第一回リサイタルを開催。三十九年NHKテレビ番組のグラランドショウの司会。翌年紅白歌合戦に出場するなどして、NHKに何かと出演、特に五十八年3チャンネル「ギターを弾こう」の番組では2年間ギターの講師としてレギュラー出演しました。又五十九年には芸能生活二十五周年記念リサイタルをNHK大ホ

### わが同窓会の足跡

……再建総会から今日まで……

わが同窓会の歴史は古い。今回で23回を数える総会も、再建総会から22年になる。戦前を加えると半世紀を超える。同窓生の中には、このように脈々と受け継がれてきた「タテの流れ」の会の歴史の古さを知らない人も多いようだ。先輩・後輩のキズナの大切さを再認識するうえの参考資料となればと願い、この足跡を掲載します。

- 再建第一回の創立総会は、昭和40年6月5日、明治大学記念館で開催され、会長に笹村越郎氏（故人）を選出、新発足した。
- 第十一回、50年5月17日（土）3時、明治高校講堂、会費は、三、〇〇〇円、母校の新校舎落成披露を兼ねて、参加二、〇〇〇名。会長に片岡龍夫氏が就任、ホストS 26年卒猿楽会。※第一号会報を発刊。
- 第十二回、51年6月12日（土）3時、明治高校講堂、会費二、〇〇〇円、参加二、〇〇〇名、ホストS 26年卒猿楽会。
- 第十三回、52年6月11日（土）3時、明治高校講堂、会費二、〇〇〇円、参加二、五〇〇名、ホストS 26年卒猿楽会。※同窓会々則の改正なる。
- 第十四回、53年6月12日（土）3時、明治高校講堂、会費二、〇〇〇円、参加二、〇〇〇名、ホストS 26年卒猿楽会。
- 第十五回、54年7月7日（土）2時、明治高校講堂、会費二、五〇〇円、参加二、五〇〇名、ホストS 17年卒同期会。
- 第十六回、55年7月12日（土）2時、池之端文化センター、会費二、五〇〇円、参加二、五〇〇名、会長に栗原勝一氏が就任、ホストS 28年卒明窓会。
- 第十七回、56年5月15日（金）6時、私学会館、会費二、五〇〇円、参加二、〇〇〇名、ホスト
- S 31年卒同期会。※新同窓会名簿を編集・発行。
- 第十八回、母校の創立七十年を記念して、57年5月22日（土）2時、明治高校体育館、会費二、五〇〇円、参加二、〇〇〇名、会長に坂本朝一氏が就任。ホストS 30年卒同期会。※七十周年記念事業の一環として、初代校長鶴沢総明先生の胸像を建立することになり、その基金として同窓会より二五〇万円を寄付。明高クラブOB会発足。
- 第十九回、58年6月4日（土）5時半、銀座三越大食堂、会費七、〇〇〇円、参加二、五〇〇名、ホストS 29年卒二九会。
- 第二十回、同窓会創立二十周年を記念して、59年10月13日（土）5時半、赤坂プリンスホテル、会費二、〇〇〇円、参加二、五〇〇名、ホストS 32年卒明治会。※同窓会の名称が「総明会」と決る。
- 第二十一回、60年10月5日（土）6時、東京プリンスホテル、会費二、〇〇〇円、参加二、五〇〇名、ホストS 36年卒明窓会。※同窓会旗完成。スライド「明高70年の歩み」を母校に寄贈。
- 第二十二回、61年11月8日（土）5時半、ホテルニューオータニ、会費二、〇〇〇円、参加二、五〇〇名、ホストS 33年卒同期会。※同窓会々員宛名カード製作。

昭和二十五年卒

齊藤会計事務所

税理士 齊藤富保

江戸川区中央一八八  
六五五―六四四七

昭和三十三年卒

刀根司法書士事務所

司法書士 刀根 啓

中央区日本橋小伝馬町一四一五  
メローネ日本橋六〇一  
六六二―三八九〇

昭和三十四年卒

大江司法書士事務所

司法書士 大江 文雄

葛飾区小菅四二〇―二二  
六〇二―六七二八

昭和四十四年卒

大江司法書士事務所

司法書士 大江 満

江戸川区中央一六六―五  
六五六―七四三三

昭和三十六年卒

新井クリニク

新井 治美

武蔵野市吉祥寺南町二六―三  
丸昌ビル2F  
〇四二―四三二二〇二

昭和三十五年卒

株式会社宮本御之助商店

代表取締役 宮本 芳宏

台東区浅草六―一―一五  
八七四―四一三四

昭和三十四年卒

ラブリオン株式会社

代表取締役 高橋 秀典

台東区浅草橋四―一―九一七  
八六二―七六六一

昭和三十八年卒

株式会社ワープ

代表取締役 高橋 正佑

港区六本木七―一―二  
四〇五―九三二一

昭和三十四年卒

有限会社東洋土地産業

代表取締役 福岡 準二

江戸川区北小岩三―二―二〇  
六五七―四七三二



元気でやさしかった  
あの栄蔵先生が…

山口栄蔵先生は、教師が  
正に天職であった方だと、  
昔も今も強く感じ続けてき  
た。一見、穏やかすぎ大人  
しい感じがイザとなると基本  
を外さないのを得た裁断をされ  
た。我々、生徒、教員が主体  
性をもって行動、運営できる環  
境づくりをして下さる。当然、  
責任も生徒がとる。しかし、そ  
れも行き過ぎると必らず先生が  
現われて歯止めをされた。

生徒に主体性をもってやらせ  
るという事は、相当な辛抱強さ  
と、それなりの度胸と覚悟が必  
要とされた筈だ。まだ15才16才  
の子供がやる事だから軌道も外  
れば無茶も多い。しかし大事  
な「独立自治」の精神は大いに  
育まれる。おそらく先生は、  
片時も目を離さず我々を遠くか  
ら見守っていたに違いない。そ



明中高での思い出  
きつぷの良い生徒たち

樋山 正士

長かった  
ような短か  
かったよう  
なと言いま  
しながらも37



年の歳月はやはり長かったなと  
いうのが実感です。23才の美青  
年？は熟年という新造語でいく  
分か紛らわされたものの、そ  
れでも確実に還暦を迎えそして  
定年となりました。37年の在職  
は明中高の創立より74年の奇し  
くもま半分にあたりますから、  
明中高においては私も結構歴史  
上の人物の一人になったようで  
す。旧制明中OBである叔父や  
兄から聞き及んでいた受験進学

校時代の校風や雰囲気と、純然  
たる付属校になった現在の明  
中高とは大違っているようで  
す。戦後まもなく実施された、  
六三三制の学制改革は明中高に  
とっては大学付属校への画期的  
な一大変身を意味したわけです。  
私はこの改革の直後に奉職した  
ので、新制明治大学付属明治高  
校・中学校の発足の時点から共  
に歩んで来たことになりました。  
長い年月勤め上げて、いったい私  
は明中高のためにどんなお手伝  
いできたのだろうか、さす  
がにこの区切りを迎えて回顧せ  
ざるを得ないので、恥かし  
ながらこれといって胸を張れるよ

であつた。又、親友、悪友？  
でもあつたらしい。今回、松枝  
先生の深い悲しみと寂しさは、  
家族に優るとも劣らないものと  
推察される。

山口先生は三十二年間、教鞭  
をとられたが、その主義なり主  
張は遺族だけでなく我々OB三  
百余名及び教員の中に脈々と  
生きている。その証は、OBが  
中心となつて今後十年二十年  
三十年の各々の人生の中に必ず  
や花開くと信じて疑わない。先  
生は御遺族と、我々の中に永遠  
に生き続けているのだ。

山口栄蔵先生 大正15年生  
昭和26年、明治高校に奉職、以  
来連続してバスケット部顧問。  
学園にあつては、高校を中心に  
学年主任、学級主任をはじめ、  
生徒指導関係の各係を担当し、  
昭和58年度には生徒指導主任を  
努めた。温和な親しみのある先  
生として、生徒はもとより多く  
の教職員からも信頼された。

うな仕事はなに一つでござん  
でした。でもこれではあまりに  
無責任であり私自身悔みにすぎ  
るので、私は明中高の歴史の小  
さな歯車役を果たしたのだと思  
うことにしました。

私は明中高生の気づきが大好  
きです。彼らと接して語らい行  
を共にすると、いつも心に豊か  
さを感じます。緒論から突然結  
論になりますが、生徒は良し、  
手前味噌ながら教師も充実して  
います。私はいつも明中高は小  
数精鋭の、学力においてもハイ  
レベルな学校に成長して生徒一  
人一人が高いプライドを持った  
学力意欲の覇気溢る学園になつ  
て欲しいと切望しています。そ  
れが創立者鶴澤先生の教育理念  
だったと思います。

ニックネーム譚

落合茂二

卒業後60年経つても、恩師の  
名前はニックネームのほうが先  
に浮かんでくるし、渾名のつい  
た師のほうが印象鮮明なものも争  
えない。

一年の担任で英語  
のM師は、小柄で色  
白の柔和な方で、  
歩くとき首がぐらつく  
ので「ゴム人形」と  
呼ばれた。英語は二  
年からは、クラウン  
リーダーがS師、ス  
プリングリーダーが  
別のM師担当だった  
が、発音は硬と軟の  
差があり、女性的なM師のほうが  
生きた英語のように思えた。  
明治時代の横浜のリキシヤマン  
(車夫)がシックレット(秘密)  
をシコ(小便)タレと覚えたとい  
う。

話してくれたのはM師である。  
S師はこちらがよくできると  
「二階の小父さんに教わったな」  
とジョークを飛ばしたものだ。

二、三年ごろ、国語のF師が  
新任してこられた。在任は短か  
かったが、青い背広のよく似合  
う青年で、目をパチパチさせる  
くせがあつたので、いつの間に  
か「ソロバン」のニックネーム  
がついた。  
四年の新学期に、講堂で新任  
のY(山根)師をヒゲの大橋教  
頭が紹介したとたん、間髪を入  
れず、「ヤマネコか」という声  
が上級生の列から聞こえ、その  
あまりのタイミングのよさに、  
一瞬さわめきが起った。師は  
開成中学から転じたかたで、開  
成時代も「ヤマネコ」と呼ばれ  
ていたのである。(寄稿)

おもしろ研究

アダナは  
教師の  
エンブレム



「アダナは教師のエンブレム  
おもしろ研究」として編集  
部が企画したところ、偶然にも  
第十一回卒(昭和二年)落合茂  
二先輩よりの寄稿「ニックネー  
ム譚」が届いた。まずはじめに  
これをご紹介させていただいた。  
なお頭初めでは戦前、戦後  
を通じてのものを企画したが紙  
面の都合他の事情により、今回  
は幹事学年(昭和三十四年卒)  
の在学時代のものに限定させて  
いただいた。各時代により同一  
の先生でも異なるアダナを載いた  
先生方も大変多いし、その由来  
のはっきりしないものも多い。  
しかしいづれにしても一覽にし  
てみるとなつかしい恩師達のま  
だ若かりし頃？のご尊顔が想い  
出。

大橋先生「ナマス」当時の校長  
先輩からの引継ぎで語源不明。  
保坂先生「ナイロン」授業中に  
ナイロンの話を面白くやった。  
野木先生「キツネ」これも有名  
先輩からの引継ぎ、顔が似てる。

石川先生「ウマカタ」風ぼうが  
そっくり。  
吉田先生「カマキリ」やせて背  
が高く、その風ぼうから。  
谷口先生「ビバー」英語の授  
業中のビバーの発音から。  
松枝先生「チーター」代表的ア  
ダナ。語源不明、顔が似てるか  
水落先生「ターザン」ターザン  
映画全盛時のカッコ良さから。  
伊藤先生「ゲルマン」ゲルマン  
民族に詳しく容姿も似ていた。  
福島先生「地方検事、大将」そ  
の風ぼうにうかがえる。

昭和三十七年卒

靴・袋物・ベルト金具材料商  
(株)エムアンドケイ・ヨコヤ  
代表取締役

横谷 昌明

台東区浅草橋二一〇一九  
八六三三三〇〇

昭和三十年卒

木村事務器株式会社

代表取締役

木村 節男

千代田区外神田三二一六二  
二五二一六五七

昭和三十九年卒

塗料全般・塗装用具  
株式会社内藤商店

取締役社長

内藤 義雄

墨田区吾妻橋三二七二五  
六二二二二一八

昭和三十四年卒

高橋寝具店

高橋 宏之

江東区森下四一〇一五  
六三二一四五〇

昭和三十一年卒

株式会社サトウ・エレガンス  
代表取締役 佐藤 眞一

台東区浅草橋二二五二七  
八六二二〇三六八  
八五二一七六四七

昭和34年卒

J R浅草橋駅のそば  
浅草橋ビジネスホテル

代表取締役 松井 正人

台東区浅草橋1-11-9 862-7090

昭和三十六年卒

(有)古庄ラミネート工業

古庄 弘勝

葛飾区四つ木三二二二一〇  
六九二二二二六四

昭和四十四年卒

櫛田改造(東京ビロード)

櫛田 祐造

台東区元浅草三二二二一〇  
八四二二二二七四二

昭和三十五年卒

花火・火工品・玩具・専門店  
(株)山縣商店

山縣 常浩

台東区蔵前一二二二二  
八六二二二二二七四



昭和62年度予算(案)

(自)昭和62年4月1日～(至)昭和63年3月31日

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	1,836,942	第23回総会経費	1,750,000
第23回総会会費	1,250,000	第13号会報経費	800,000
第13号会報広告代	2,300,000	新版名簿製作式	2,500,000
新版名簿広告代	2,500,000	会議費	800,000
62年度分年会費	300,000	通信費	1,000,000
新会員入会金	1,250,000	事務・印刷費	150,000
		公用費	600,000
		基金積立	1,300,000
		予備費	536,942
合計	9,436,942	合計	9,436,942

昭和61年度会計報告

(自)昭和61年4月1日～(至)昭和62年3月31日

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	1,371,630	第22回総会経費	3,927,935
第22回総会会費	2,730,000	第12号会報経費	825,070
第12号会報広告代	2,686,000	会議費	676,451
61年度分年会費	420,000	通信費	627,810
新会員入会金	1,340,000	事務・印刷費	103,320
雑収入	242,168	公用費	688,080
		雑費	104,190
		次年度繰越金	1,836,942
合計	8,789,798	合計	8,789,798

上記の通り報告いたします。

監査の結果相違ありません。

昭和62年3月31日

昭和62年3月31日

会長 坂本 朝一

監査 館野 春男

会計 大場 隆之

同 大西 新二

同 二村 昌也

年々、総明会総会も会員各位のご協力と、担当ホスト学年のご尽力によりまして活況を呈し同時に、会員券、会報広告料の増収が、本部会計に組み入れられ、活動基金の拡充に大いに寄与するところとなっております。

別表の通り、昭和六十一年度決算も、33年卒ホスト学年の運営の妙を得まして、剰余金六六九、〇一三円を捻出いただきました。

したのをはじめ、新入会員入金金も従来の四、〇〇〇円から五〇〇〇円に改正されることなどあって、お陰をもちまして次年度繰越金一、八三六、九四二円と良好な決算となりました。

次年度は、組織強化のための同期会に対する助成、総明会名簿の改訂など、多くの事業計画をすすめてまいりますので、一層のご支援をお願いいたします。



61年度会計報告  
基金拡充にご協力を

会計 大場隆之

61年度活動報告  
多彩な事業を展開

ご承知のように、総明会の目的とするとところは、縁あって母校の明治中学・高校に学んだ同窓会員が集い、まず、会員相互の親睦を図り、さらには実業の場において会員相互の協力関係を深め、あわせて、母校の発展に寄与していくということであり、この目的を主軸に、六十一年度も、年一回の定期総会をはじめ、次の事業活動を展開いたしました。

▼総会は、33年卒同期会の担当で、11月8日（土）、ホテルニューオータニに、三百余名の参加者をみて盛況のうちに開幕され、「懐かしのジャズの夕べ」の企画が、旧制・新制いずれの会員にも人気を博し、一同楽しい一夕を過ごしました。

▼母校の生徒を対象に講演会——これは、61年度にスタートさせた事業の一つで、第一回は同窓であり、かつて母校の英語の教諭で、現在、マイアミ大学の日本文学の準教授をされておられます吉田三陸先生を講師に迎えて、7月15日、高2の生徒を対象に、母校の視聴覚教室で開

催、好評を得ましたので、今後継続的に実施していくことにしています。

▼ご勇退先生の謝恩の会（クラブOB会との共催）、本年度は、樋山、山口（去年12月に急逝）両先生がご勇退となられましたところから、4月3日（金）明治大学大学会館に、百余名のOBの参加をみて開催、教鞭やクラブ活動を通して思い出を語り合い、交歓しました。

このほか、▼明高関連では、4/5入学式、4/20教職員に対する謝恩品贈呈、10/5体育祭、11/8文化祭、2/24新入会員（高3）のための説明会、3/10卒業式などへ参加。▼総明会理事会5回。（大場隆之）

昭和四十三年卒

高級刃物、カスタムナイフ、アウトドアエグゼクティブ取扱店

岡安鋼材株式会社

岡安 一男

台東区東上野一丁目二番八号  
八三〇一三三二一四

昭和三十三年卒

株式会社双美堂

小川 恵三

江東区森下三丁目八番一三番六号  
六三二一六六〇一〇代

昭和三十四年卒

特発工業株式会社

任田 賢治

墨田区錦糸二丁目七番九番二五  
六二五二二八二一〇代

昭和三十一年卒

株式会社森

森 瀬 良定

台東区鳥越一丁目九番一四番八号  
八五一一二四八八

昭和三十三年卒

株式会社伊勢宇本店

大山 秀雄

台東区鳥越一丁目九番一五番八号  
八五一一五四九〇・五四九三

昭和三十三年卒

株式会社東洋梱包資材  
エバーサービス株式会社

江波戸 謙五郎

専務取締役

江東区毛利一丁目二番七番六号  
六三二一五一一一〇代

昭和九年卒

（株）平田袋物工芸

平田 満也

台東区蔵前四丁目八番一六番八号  
八五一一二四五〇

昭和三十三年卒

一般鋼材・形鋼専門  
出店鉄鋼株式会社

要藏

専務取締役

昭和三十一年卒

店舗設計・施工  
KKしんどう

新藤 喜久

台東区寿一丁目八番一〇番八号  
八四一一八二二五〇代

昭和三十一年卒

布帛・毛糸・帽子製造卸  
株式会社 東 栄

土田 饒

代表取締役

昭和三十三年卒

（株）関戸商店

関戸 淳一

江東区高橋一丁目二〇番二二  
六三二二二〇〇八

昭和三十四年卒

千歳総業（株）

千崎 康忠

代表取締役

昭和三十六年卒

山田ゴム工業株式会社

山田 和孝

取締役社長

昭和三十八年卒

サンテ商事株式会社

林 義秀

代表取締役

昭和三十七年卒

合同印刷株式会社

長棟 良元

代表取締役社長

墨田区業平二丁目九番一三番二四  
六二四一六一一

昭和三十七年卒

日本動物薬品株式会社

日動食品株式会社

取締役社長

吉田 信行

葛飾区西新小岩四丁目三番七番九番  
六九四一七二五

昭和三十四年卒

貼合せ加工  
ラミネート加工

共和産業有限公司

代表取締役

高橋 直美

江東区平野三丁目五番一六番二四  
六四二一七八二〇

フレンチ専門商社

三和繊維株式会社

昭和三十四年卒

専務取締役

小林 功明

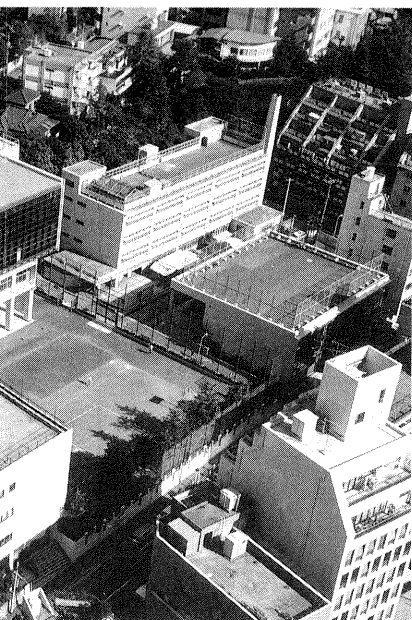
昭和三十七年卒

常務取締役

小林 久剛

文京区千石四丁目三番一十九番四一  
九四六〇二四八〇代

# 伝統・明中高76年の歩み



現在の明中・高校舎

明治大学は明治三十八年に学校組織を財団法人とし、六年後の明治四十四年に創立三十周年記念式典を行い、かねて、申請していた付属明治中学校の創立が明治四十五年一月に認可された。早速大学構内に木造三階建ての校舎の建築がはじまった。ちょうど現在の明治大学正門の右側記念館のあたりであった。

初代校長は明治大学理事・法学博士であった鶴沢総明であった。（総明会の名称は先生の名から）鶴沢先生は千葉県の出身で、幼名を惣市といった。十二才の時、父親巳之松が隣村との土地争いから道路損壊などの罪に問われ、無実の罪で三年半も未決監にほうりこまれ「罪人」の子供の苦しみをなめたことが法律家・弁護士を志すきっかけとなり、一高から東大コースを出ながら役所勤めなどには目もくれず弁護士となり、明治・大正・昭和の三代にわたって、法曹界、政界（明治四十一年に衆議院議員に初当選してから、代議士五期、貴族院議員をつとめる。）学界にも活躍し、特に弁護士としては花井卓造とならぶ華やかな人であった。尚学校教育は理想の中等教育をめざし、明治大学の付属でありながら、付属の殻にとらわれず第一級の



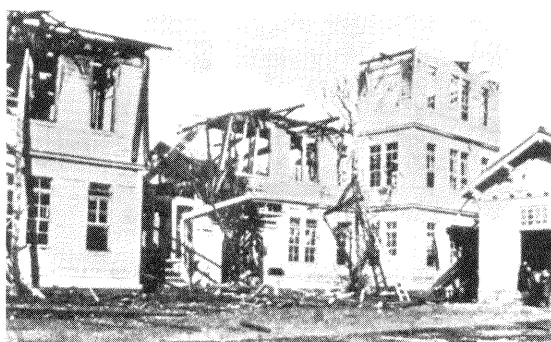
鶴沢総明先生  
初代校長  
法学博士

中学校とする情熱あるものであり、当初府立中学は四中まででしかなく、これに受験して落ちたものが麻布・開成中を受け、明治中学はそれにつづく存在であったから、よけい、真の学園は私学であるのだといって、生徒達を励ました。

## 真の学園は私学で… 明治45年・中学創設と鶴沢総明

## モダンな校舎も 1年6ヶ月で…

明治大学は大正九年四月十五日に新大学令による「大学」として文部省に認可され、現在の明治大学がスタートした。その前年に神田猿樂町に約二千坪の土地を購入しており、その敷地に明治中学校新校舎が大正十一年三月に出来上った。それは鉄筋コンクリート四階建て外側にレンガを張った校舎で、当時の中学校舎としては東京中でもっとも高くモダンであったという。それも翌大正十二年九月一日の関東大震災に遭い、民家からの延焼により、コンクリートの外壁を残して内部は全部焼けてしまった。焼失時刻は午後二時頃であった。授



大正12年の関東大震災で崩壊した明治中学校

## 戦争の激動期にも耐え… 明るく学ぼうとする生徒たち

時代は大正から昭和に移り、昭和二年の大恐慌で次々に銀行が倒産し、未曾有の金融恐慌となった。そして、落ちつかないまま、世界の変革があり、併せて昭和十一年二月二十六日（二・二六事件）の事件から、日華事変、そして太平洋戦争へと年々戦時色が濃くなっていった。そんな中で昭和四年十一月二十二日明治中学に近衛歩兵第三連隊長東久邇宮殿下が本校の教練査閲にこられた事などは校史にのこり、生徒にも大きな感銘を与え、以後学校教練に与えた影響も甚大であった。

明けて昭和二十年四月十三日第2回目の大空襲により、神田三崎町方面一帯が爆撃されて、猿樂町も火の海となったが、本校は関東大震災の大火で鉄筋コンクリート構造にもかかわらず焼失したのは、避難者が家財道具を校庭に持ちこんでそれに、火が移ったため。この苦い経験を持つ大崎留台校長は翌年の建



祝第3回総明会総会

昭和三十二年卒

### 明治会

代表幹事

山崎 敬生  
小林正三郎  
北郷新一郎

### 明球会

会長

卯木敏夫

### バスケット部OB会

会長

宮本久義  
小柴仁美

昭和三十四年卒

天戸 一光  
小川 靖男  
清水 弘  
鈴木康男  
内藤和衛  
服部健之助  
藤村良雄  
古川具弘  
山口喜一郎

明治大学附属明治高校  
41明友会

事務局  
台東区下谷三十四一五  
八七二一五四二七

### 岩屑会

明治高校山岳部OB会

### 猿楽会

昭和二十六年卒

会長 卯木敏夫  
副会長 小林明  
会計 齊藤英二  
事務局 武政芳則  
他会員一同

昭和三十年卒

### 明治高校柔道部OB会

会長

福田二郎  
浦和市常盤七一二  
九一九一三二九一

副会長

田中章雄  
港区東新橋一三二二  
五七二二七三七

昭和三十三年卒

### 三、三三三

鈴木寿雄  
二村昌也  
遠藤純  
島津恒雄  
藤田義茂  
事務局連絡先  
文京区本郷三十一一五一二  
八一三三三八六

### 明水会

会長

寺村武二

明治中学・高校剣道部OB会

### 見心会

会長 館野 春男  
他会員一同

### 卓球OB会

会長 三十年代卒

宇田川雄弘

副会長 三十年代卒

西村 昭

副会長 三十七年度卒

倉島孝夫

幹事長 三十八年度卒

高橋正伯

会計 四十年代卒

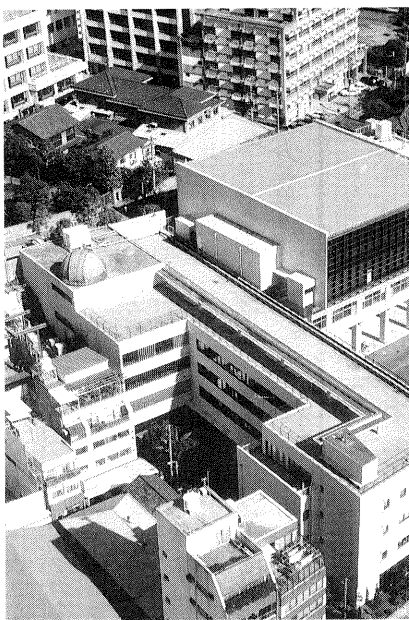
秋田直好

昭和三十四年卒同期会

### 旧雨会

秋山 義昭 須藤 雅史  
磯 時男 柴田 晴夫  
石橋 義一 鈴木 慶一  
岩崎 与士 田中 勉夫  
江沢 安正 高橋 直美  
尾島雄三郎 玉越 明俊  
小野塚喜紀 千葉 勇  
大谷内毅尚 内藤 和衛  
加藤 佳一 新倉 清之  
希代 章 浜崎豊太郎  
小坂 嘉幸 村島大三郎  
小室 秀夫 山田 晃久

# 輝やかしい



## めざましい戦後の復興

### 甲子園での活躍

昭和二十年八月十五日の終戦から、復興が急ピッチに開始され、世の中は激しく変化していくのですが、学校も学制改革によって、昭和二十三年四月から六・三・三制が実施されて本校も中学・高校がもうけられ、中学・高校・大学と一貫教育が開始された。この時には鶴沢初代校長から大橋留治校長になっており、旧制から新制へのスタートとなった。旧制での卒業生は三十一回生で終わっている。戦後は物資の不足から、それこそ「質実剛健」をカラーにして、社会の変化と同じ様に学校

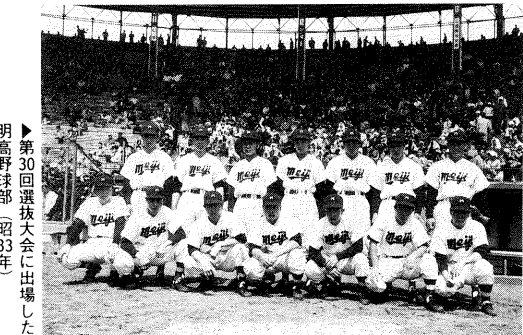
## 母校こそ誇り

昭和二十年八月十五日の終戦から、復興が急ピッチに開始され、世の中は激しく変化していくのですが、学校も学制改革によって、昭和二十三年四月から六・三・三制が実施されて本校も中学・高校がもうけられ、中学・高校・大学と一貫教育が開始された。この時には鶴沢初代校長から大橋留治校長になっており、旧制から新制へのスタートとなった。旧制での卒業生は三十一回生で終わっている。戦後は物資の不足から、それこそ「質実剛健」をカラーにして、社会の変化と同じ様に学校

## 歴代校長の努力

さて戦後の学校を語るには校長先生の交代によって皆様もよくおわかりかと思われる。

- |        |        |
|--------|--------|
| 鶴沢 総明  | 寺瀬 光男  |
| 大橋 留治  | 石川 一郎  |
| 中川 富弥  | 麻生 平八郎 |
| 良田 喜久男 | 清水 義汎  |
| 武田 孟   | 中野 隆彰  |
| 島田 正郎  | 保坂 吉彦  |
| 福島 則雄  |        |



▶第30回選抜大会に出場した明高野球部(昭33年)

新制中学・高校が誕生して、新しい方向として、週五日制が昭和二十四年にとり入れられ、他校(クリスチャン系)は行なっていた。にない土・日曜日と二日間休みがあり、私学の良さが出ていた。がこれも昭和三十一年には中止された。又その前年三十年に鶴沢先生が逝去され、翌年は大橋先生も校長を退任され、中川、良田校長へとバトン

タッチされ、昭和二十年代の復興から激動する三十年代に突入する。良田校長は八丈島高校長を経て、本校長になり朝礼を励行して「愛と誠」「勇往邁進」を口ぐせに生徒に何とかなじもうと努力していた。又その年に教職員の停年制がとり入れられ、校長六十五才、教職員六十才となつて名物先生・春日・小野・原・増淵・服部・小川と六名もの停年退職者が出た。そしてこの頃中学生の生徒数が減つていく傾向が始め、翌年より中学一年を四クラスから三クラスへ、高校では四クラスから五クラスにするなどして新しい方針を打ち出した。一方校舎も二階建木造校舎中一用をとり壊して、三十四年に落成し高校校舎とする。三十七年九月には現在の一号館が新築落成する。これで中・高共に新校舎になり若干三・四号館を残すだけとなる。良田校長が倒れて、大学より武田先生さらに島田先生が校長につかれた。

六年に二回目、三十三年に三回目(準決勝進出)、四十年に四回出場(その後出場なし)。そして夏の全国大会では第三十二回大会昭和二十五年大崎投手で初出場。二十八年第三十五回大会は浮貝投手で二回目。第四十回記念大会は三十三年下田、宮沢のバッテリーで三回目的甲子園出場を果たした。今年も全国大会も六十九回目を迎えた。あの四十回大会以来夏の甲子園は遠くなるばかりである。今年も頑張ったが、東京東ベスト十六で終わった。なんとか昔の「明治」を鼓舞してもらいたい。



在りし日の福島校長  
母校発展に力を注  
がれた。やさしい  
笑顔が今も……。

## 76年の重み

### 母校こそ誇り

昭和四十二年には福島則雄先生が校長につかれ、再度、中学校のあり方に力を注ぎ、ここに引用している「六十年の歩み」を編さん発行された。清水先生そして中野先生、保坂先生へと、私達がお世話になった先生方が校長になられ、現在に致っている。歴史をふりかえるにはこの七十六年間のいろいろな事があった。この紙上ではなかなか書きつたえる事はむずかしい。でも皆様が少しでも、歴史を思い浮かべて下されば幸いです。尚貴重な資料があればこれを機会にいろいろ掲載致しますのでよろしく。



▶甲子園での応援は、  
母校愛を育くむ。



▶昭和4年、中学を査問のため来校した  
東久瀨宮殿下と教職員

### 明治大学理事長

後藤 信夫

### 明治大学総長

島田 正郎

### 明治大学学長

山本 進一

### 大正十年卒

片岡 龍夫

杉並区和田三十四六六  
三二一一三二七〇

### 昭和十八年卒

藤本 善太郎

港区青山二一三一一  
四〇一一五三七四

### 昭和三十年卒業 同期会

会長 大場 隆之

副会長 伊藤 寿

〃 八十島庸郷

〃 西秋 忠男

〃 田村 正彦

〃 中瀬 裕

〃 中堀 茂

幹事長 石田 彰之

連絡先  
〒275 習志野市袖ヶ浦4-15-14 (大場方)  
電話 0474(53)2973

### 応援団OB

#### 昭和三十四年度卒

鯨坂 紀彦

川上 貴正

野呂 和正

秋山 義昭

大西 敏生

小林 茂弘

松下 磐

石橋 義一

山田 宏員

#### 四十年度卒OB会会長

大関 清人

#### 四十一年度卒OB会幹事長

角田 敏彦

連絡先/北区志茂二二二一九  
九〇一一一九七〇

#### 昭和二十九年卒業

(二九会幹事)

会長 矢島 偉行

OB会 山本 巖

副会長 朝比奈 四十一

倉田 秀夫

阿出川 弘

大橋 成光

連絡先 新宿区納戸町一五  
二六〇一一六六九(山本峰司)

#### 明治大学マンドリン

OB倶楽部

連絡先

富山 浜雄

八五一七四〇〇

#### 歴史研究部OB

丸山 賢一

高田 武雄

酒井 啓行

#### 昭和三十五年卒

株式会社 セビックス

代表取締役

笠島 宣男

荒川区東日暮里六二一七一三  
八〇六一一五四一代

REGAL.



リーガルは流行を追わず、本流を貫きます。

時代が変わっても、リーガルのテーマは「履きやすく丈夫な靴を作ること」。流行に左右されるような靴は作りません。いつの時代も伝統を重んじる頑固な姿勢を貫きとおします。

東立製靴株式会社

千葉県柏市豊四季笹原341番地13 電話 柏0471(46)8680~2

昭和33年度卒業 取締役社長 伊藤 新一



## 同期会 だより

### 今でも毎月 午餐会

五明会（大正10年第5回卒）

片岡龍夫

明治中学校五回卒業というこ  
とで五明会と命名、今でも毎月  
五日にスキヤ橋のニュートーキ  
ョーで午餐会をやっている。現  
在会員は卒業時の約1/4の23名、  
内関西に4名。毎月集る常連は  
11、2名、みんな鶴沢総明先生  
の薫陶を受けた連中で、毎年の  
総明会の懇親会には出席したい  
気持は充分持っているが、八十  
才ともなると体のあちこちに故  
障がでて、特に足が弱くなり夜  
の外出が無理になって、出席者  
もだんだん減って二、三名とな  
ってしまつたのは残念である。

四、五年前までは懇親会の最  
後に段上に上り最初のメロディ  
ーで校歌「帝都の真中駿河台」  
に蜜声をあげるのを楽しみに出  
席していたクラスメートも今は  
ない。誠に淋しいことだ。然し  
一同総明会がますます盛大にな  
ることを心から願っている。

### 社会で活躍する 同期生たち

明窓會（昭和二十八年卒）

田中計三

花の二・八集会和互いに声を  
掛け合つて昨年十月、百周年記  
念大会会館に於て久方振りの同  
期会を開催致しました。熊木貞  
夫会長（公認会計士）戸田一郎  
事務局長（振天堂社長）青木登  
會計幹事（日精社長）三君を軸  
とする幹事諸兄の努力に依り、

五十路を迎る諸兄の風貌は皺数  
に生きざまを隠しきれませんで  
したが過ぎし日の懐かしさに談笑  
の花を咲かせるその姿は明中高  
生時代そのものでした。明窓会  
は故福島校長の命名であり同期  
生の今日の社会的活躍は数多く  
認められ広く社会に理解されて  
居る事は同期の一員として大い  
に自負してはばからないもので  
あります。更に総明会への参加  
は君塚美明（弁護士・明大評議  
員）が学年代表理事として頑張  
つて居ります。明窓会活躍の資  
源は諸兄の会費です。何卒御理  
解の程御願ひ申し上げます。

### 不惑を越えて 「友情味合おう」

明優会（昭和四十年卒）

米山広昭

秋冷の候、明優会同期の皆様  
いかにお過ごしでしょうか。  
我々40年卒「明優会」は本年  
1月28日浅草公会堂前の喜多八  
で明優会総会を開催致しました。  
出席された先生方は、水落先生  
村野先生、新井先生でした。

当日は新年会と重なり残念に  
も欠席された方も多くお詫び申  
し上げ、次回は是非とも御出席  
の程お願い致します。参加者は  
41名、次回は3年後です。又今  
回より会の運営をスムーズにし  
るため年会費納入の方法を取り  
ました。会費は年千円で3年分  
振込願えれば幸いであります。

なお、3月15日ユニオン・エ  
ースゴルフクラブにて14名で同  
期のゴルフ会を開催し、優勝は  
茅野浩昭君でした。ゴルフの会  
は年2回の予定ですので腕に覚  
えのある諸君の参加を期待致し  
ます。

さあ！不惑を越えた同期諸君  
駿河台に集おうではありません  
か。

### 卒年ごとの同期会づくりを

40年代卒以降は、まだまだ

総明会とは同窓会です  
から構成員はOB一人  
一人です。しかし総明  
会を組織しているのは  
同期会に他なりません。  
各期の代表として代表  
幹事が運営に参画して  
います。

昭和二十一年代卒の各期  
はそれでも同期会が色濃くま  
まり、独自のカラーで運営され  
総明会に対しても強い支えとな  
っています。しかし四十年代卒  
あたりからいまだに同期会の結  
成がなされぬ学年があります。  
鳥に帰巢性があるように、我々  
にも母校への回帰性は強くあり  
ます。どうか、まだ結成をみぬ  
学年は大至急にその働きかけを  
試みて下さい。総明会が強くお  
手伝いも致します。一度に纏ま  
らずとも、二十人、三十人より  
始められ、核を作られても良い  
でしょう。期待します。

連絡先〇四七三二二〇一六五〇  
総明会 山崎敬生

### つらさと楽しさと ホスト学年

旧雨会（昭和三十四年卒）

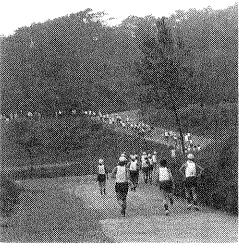
小野塚喜紀

昨年11月の22回総会のニュー  
オータニで、わが同期会のメン  
バーが、次回ホスト学年として  
参加者に紹介され、代表の磯君  
がチビに似ず大声で決意表明を  
行なった時から、我々の苦しみ  
が始まった。

早速、同期会の中からクラス  
単位に幹事を選出し、準備にと  
りかかった。広告・新聞発行・  
当日のイベント・記念品作成な  
ど、本部の先輩から過去の経験  
を聞き、企画立案してみると、  
ホスト役の仕事の量の多さに、  
まずビックリした。わが旧雨会  
は非常に結束の固い同期会で、  
2、3年に一回の総会、有志に  
よる年一回のゴルフ大会をはじ  
め、クラス単位やクラブ単位の  
横の連絡も密な学年だが、比較

的総明会とは関係が薄い。  
そんな事で、ホスト役を引き  
受けたのはよいが、ある意味で  
は全くの手探り作業の連続であ  
った。しかし、よくしたもので  
日頃の結束のお陰で、一声かけ  
れば幹事以外のメンバーもすぐ  
飛んできて協力してくれるし、  
知恵も体も惜しみなく出してく  
れる。高校時代の呼び名で、わ  
いおい結構楽しみながら仕事が  
進んでゆく。

ひとつ気掛りなのは、会費を  
安くということだ。大学の施設  
を使うことだ。ホテルとは施設  
もサービスも格段の違いがある。  
準備や運営にも手数がかかる。  
今までとは違った苦労が生じて  
くる、本部とホスト学年全体の  
手作り総会になってきた感じが  
する。ともかく、もう一息だ。



母校恒例のマラソン大会

## Fun To Drive

●取揃い車種：スーパ カロ・マックス カロ・マ カロ・マ

セリカ カムリ タワーズ カロ・ラバン



トヨタ西東京カローラ

本社 府中市是政1713-5 ☎0423-65-1111

1987年12月改築オープン

〈スキー・水上スキー・テニス・ゴルフ〉

レイクサイドホテル

野尻湖 ラフィネマルタ

東京営業所 550-7423

昭和30年卒 宇田川 雄 弘

株式会社マルタ ファクトリー

練馬区早宮 4-1-16 993-5381

株式会社 米山富次郎商店

昭和二十七年卒 米山耕右

昭和四十年卒 米山廣昭

千代田区内神田二二二二二

二五二二二二二二二

昭和三十五年卒

(株)ヤワタホーム

専務取締役

西広良政

千葉県香取郡東庄町笹川一〇〇六  
〇四七八八八六〇七〇

ホテル ニュー稲元

昭和二十七年卒

代表取締役

稲田博士

昭和三十三年卒

常務取締役

稲田勝久

熱海市東海岸通り サンビーチ前  
〇五五七七八二二五三三

### 小室鋼業株式会社

昭和三十四年卒

小室秀夫

昭和三十六年卒

小室雅夫

昭和三十七年卒

小室輝夫

墨田区吾妻橋一七七一  
六二五二二二二

昭和三十六年卒

一級建築士事務所・ハウ

山内 研

港区東麻布三三三六  
AZABU EAST 一〇一  
五〇五二二二二

昭和三十年卒

本場信州

マツカメミソ

常務取締役

小口政博

(旧姓宮沢)

本社 長野県岡谷市湖畔  
一〇一〇一九

〇二六六二二二二七六二二

東京営業所  
北区東田端一五五九  
八九三六〇八三

## 世界的名選手 「前原正浩君」

卓球部OB会

小林功明（34年卒）

我々明治高校卓球OB会は宇田川会長のもとで年に一度の総会と、親睦会を開催している。今年も三月に浅草の桃太郎で開催しました。本年度明治高校を文武に優秀な成績を残し、卓球部に卓球部員は、確か五名と記憶している。卒業した後輩の中に際立って日本の卓球会に功績を残している男をこの紙面で紹介しておきたい。彼の名前は、前原正浩である。明治高校を昭和47年卒業、現在協和発酵工業株式会社に勤務している。高校時代、東京都選手権大会に優勝。全国高校選手権大会に出場し優秀な成績を修めた。明治大学時代には

## 定着した年一回 「のOB合宿」

剣道部OB会・見心会

加藤佳一（昭和34年卒）

当OB会では、近年年一度のOB合宿が定着しつつある。その年の大学四年生OBが中心となつての企画となる。毎回二十人前後が集まり和気藹藹の稽古であり、宴会でもある。かつて現役時代の辛い合宿を思うと大地雲泥の差がある。とはいふものの、行うのが大体二月頃であるから寒さはこたえる。それでもやせ我慢をして稽古に着がえ、剣を交えたあとの一パイが何とうまいものか。飲みすぎて翌早朝の稽古はお休みという者も結構多いし、それが許されるのが又うれしい。第一回、千葉大原。第二回、鬼怒川温泉。第三回、秩父小鹿野。第四回、河口湖。第五回の今年は再び鬼怒川温泉となった。

47年関東学生新人戦優勝、49年・50年全日本学生ダブルスに二連勝。シングルスでは、50年準優勝し、海外では54年オーストラリアオープンシングルス、ニュージーランドオープンダブルス、イギリスオープンダブルス等に優勝し、世界選手権大会には、52年より5回連続出場している。また、60年6月全日本の監督に就任し、64年世界選手権ドルトムント大会まで全日本の監督を務めることになっており、現在まで40数回の海外大会を経験している男である。もちろんまだまだ多くの成績を残しているがスペースに限りがあるのでこのくらいにしておきます。テレビ新聞雑誌等よく彼の成績が出るがこれを機会にぜひ彼を応援してやって下さい。

## 明治精神の 「継承を願う」

応援団OB会

白雲なびく駿河台 眉秀でたる若人が……

在学中、卒業後、何度唱われた事でしょう。母校に対する愛着離れがたく、今なお現役生徒の後盾として活動して参りました。

現在、応援団自体の活動は、学校側の学力優先方針に押され、野球応援も今一つ気迫に欠け、昭和四十年の春の選抜大会以来甲子園より遠ざかり、今年の夏予選もベスト十六に入るのがやっとの状態で、その他スポーツの応援でも、十分に活動出来ない状況です。

過去四十余年の歴史を経て、OB会員も百数十名、過去の栄光忘れがたく、年次総会にて氣勢を挙げ、生徒及び顧問先生に求めて来ました。

昨年春には学校側の寄贈による大団旗完成に伴ないOB会幹事による入魂式を校長先生を始め、多数の方を御招きし、神田明神にて行いました。

さらに春、夏の合宿では、現役生徒が技術力、精神力を培える様、指導に向いております。

この様に、伝統ある明治精神を幾久しく継承されん事を願い、応援団のOBとしての誇りを持つてOB会活動をさせて頂いております。

昭和三十四年卒

硬式野球部OB会

宮沢政信

下田義夫

小川栄三

羽鳥勝己

橋本隆昌

田中勉夫

昭和三十四年卒

中央区議会議長

大塚忠彦

中央区新富町一五八  
五五二一三一九

昭和34年卒

青山孝治

EMINENT

（株）エミネント トラベル サービス

東京都文京区小石川4丁目20番5号 201

☎112 ☎電話 (03) 815-0810

白川ゴルフ倶楽部

ミニゴルフコース・9ホール パー27

群馬県吾妻郡長野原町北軽井沢

0279-84-3948

昭和三十四年卒

株式会社岡崎鋼鉄商店

岡崎安彦

昭和三十七年卒

日本アラゴナイト株式会社

岡崎安久

墨田区本所四二二二一五  
六二二一五六〇七

昭和四十一年卒

印刷紙器・段ボール  
パッケージ全般

株式会社

角田紙器製作所

専務取締役

角田敏彦

文京区水道二一八一九  
九四七五〇五一代

昭和三十二年卒

千代田雑貨株式会社

初谷幸祐

千代田区外神田二一〇一八  
二五二一八九二〇

昭和三十五年卒

株式会社西沢工業所

西沢忠一

江東区森下一四四一  
六二二二二〇〇

昭和三十五年卒

東京共同梱包運送株式会社

代表取締役社長

小田嶋伸和

江東区東雲二二二二〇  
五二九一三四一代

昭和三十五年卒

リカー&フード

カジマヤ

長章弘

千代田区神田淡路町二一八  
二五二一五六五三

昭和三十四年卒

株式会社東京教学社

鳥飼好男

千代田区三崎町二一〇一五

昭和三十一年卒

日刊プロスポーツ新聞社

取締役社長 月岡洋児

荒川区東日暮里四一九一  
八〇六一二二二一

昭和三十四年卒

片山菊雄

昭和三十八年卒

片山罔男

市川市市川二一七二一七  
〇四七三二二二五七二〇

昭和四十年卒

有限会社東美商会

常務取締役

師田充夫

台東区東上野一一七二七  
八三四一五五一

昭和三十二年卒

新栄観光(株)

花崎喜久夫

新宿区西新宿三三八一五  
三七五一七二一七

全国宝石学協会々員  
エレガンス宝石株式会社

代表取締役 須藤 雅史  
(昭和34年卒)

墨田区業平1-9-14 626-3843

幹事一丸となって

第23回総会

ホスト学年代表 磯 時 男

昨年10月総明会学年幹事会において、大場理事より23回総明会総会の幹事引き受けの要請があり、22回総明会総会（11月8日ホテルニューオータニ開催）に於いて正式にお引き受けいたしました。

早速11月下旬、同期会（名称旧雨会）を開き、総会の幹事学年になったことの報告と協力要請したところ、幹事学年を引き受けたからには、伝統ある総会に汚点を残すような幹事学年になつてはならないと満場一致で協力を約束してくれました。い

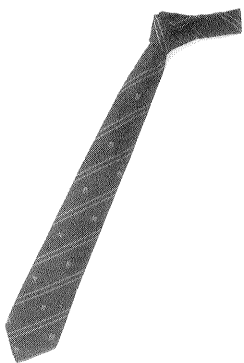
まさながら我々同期の結束の良さに感謝すると同時に誇りにも感じました。

22回総会幹事学年の二村先輩、遠藤先輩から総会開催に必要な資料をいただいたり、苦勞話しや失敗談を聞かせていただき、このことを参考にしながら、今

「記念品は語る・・・」

メンバーに連帯感と誇りを

総明会を象徴するレジメンタルクラブタイを企画制作いたしました。レジメンタルとは連隊という意味で、元々は英国の連隊に伝わるストライプ。クラブタイは、学生たちがこれを真似て母校のタイを締めたのが始まりで、メンバーに連帯感と誇りを与えてくれます。デザインは本格的なオリジナル指向ということでグラフィックデザイナーに依頼。紺をベースにワインレッドをコーディネートしたストライプに「明治」の象徴であるMのエンブレム



れるのではないかとということで企画いたしました。いま思えば会報の企画及び発行、広告集め等苦勞もありましたが、いまはただ総会が盛会のうちに終ることを望んでいるだけです。

来年度の幹事学年となつて

35年卒 野田 繁

母校明治高校を卒業して早や二十八年目となりました。私達の在校中は、所謂伝統としての古き良き明治と、時代の流れに伴い新しい校風が築かれてゆく丁度境目となつていたゼネレーションでもあり、それなりに楽しい思い出と共に、貴重な経験を得ることが出来ました。学校行事のことや、頭髪身の廻りのことの変化がその一つでありました。

また昨今はこの学校にも出ている傾向ですが、明治への受験の厳しさは改めて驚かされます。高校を新しく募集する様に

「明高会」より

同期会員へお知らせ

27期代表幹事 新田満夫

連絡係 米山耕右

61年10月23日、神保町の佐野昌一君が、スイ臓病の為、死去致しました。また、硬式野球部マネージャーの石井克也君が62年5月17日、直腸病の為死去されました。両君のご冥福をお祈り申し上げます。

このようなお知らせを冒頭にお伝えするのは、誠に心苦しいのですが、お互いの存在を確認する意味でも、年に一回の同窓大会にご参加頂き、友人の近況など、お知らせ頂ければ幸いです。なお、吉田満君は、6月に、大和自動車交通株式の常務に就任致しました。

なつた私共の学年から序々に厳しくなつており、私は昭和二十九年に中学に入学しましたが、その頃は「明治が非常に好きなので」とか「父が明治で、兄も明治に在学していますから」という話がありましたけれど、今はどうでしょう、そういう関係の言葉はあまり聞かれないようです。

さて、各年代の交流を目的とした総明会も二十三回目を迎えました。そしてめぐりめぐつて来年度の総明会の幹事学年を仰せつかりました。明治の伝統は、この総明会を通じて継承されており、二十四回目を集いも新旧折り交ぜた意義のあるものにしたと考えています。また私共昭和三十五年卒業同期会も、暫らくインターバルがあつてしまいましたが、この機会が特に旧交をあたためるときとなれば……と。楽しみにしています。皆様各位の御協力を宜しくお願い致します。

◆卒業生の皆さんへ◆

ホスト学年からお願い

この総明会ニュースは、年一回の発行で、総会のご案内が中心になります。出欠は、同期会の幹事の方々を中心に集計していただいておりますが、学年によつては、集りのない学年もかなりあるようです。今回の総会案内も、全員に行き届かない場合もあると思いますが、可能なかぎり口コミで幅広くお知らせください。

総明会では、明中高卒業生の連帯と友情の集いです。この機会に同期のつながりを作るのも一つの方法です。連絡をとり合つて出席をしてください。

吉徳大光

創業二七五年

ひな人形 五月人形  
和洋人形 めいぐるみ

昭和二十二年卒

大光株式会社

小林昭雄

八五一〇一六五

明治高校野球部

監督

山本晃裕

昭和三十四年卒

(有)アヴァンデザイン研究所

秋山義昭

渋谷区円山町五十一  
G&K渡辺ビル5F  
四九六一五〇一

昭和三十五年卒

株式会社 トルテ

代表取締役 倉木忠巳

新宿区神楽坂六十三  
二六九一〇八七

昭和三十五年卒

天野洋一

川口市金山町六一八  
〇四八二二二三〇四四

昭和三十三年卒

定谷紙業株式会社

代表取締役

定谷久光

荒川区東日暮里四二七一一  
八〇五十三四一一

昭和三十四年卒

鶏印問屋

(有)浜屋食品店

浜崎豊太郎

台東区雷門一〇一〇二  
八四一〇二七〇〇

昭和三十九年卒

大関電設株式会社

代表取締役

大関清人

北区赤羽西四一三十五  
九〇六一二七〇八

昭和三十四年卒

前田テント装飾株式会社

代表取締役

前田陸也

千代田区外神田六六六  
八三二一五八一八

昭和二十六年卒

寺村梱包株式会社

代表取締役

寺村武二

文京区本郷二一九一一  
八三二一六六八六

昭和三十三年卒

有限会社ガナン・ドール貿易

代表取締役 西塚邦雄

千代田区神田小川町三三二  
東京古書会館内  
二九四一三四七三

昭和三十六年卒

ゴルフショップ

ニチレイゴルフ

納米秀明

中央区佃三三三三 青木ビル  
五三二一六二四七

昭和三十三年卒

三栄産業株式会社

専務取締役

原 昭夫

品川区戸越六六六  
七八三二二四一

昭和三十五年卒

(株)日暮

島田幸雄

荒川区西日暮里三二二四  
八二二一五六一一

昭和三十四年卒

株式会社松野

松野輝信

台東区蔵前四一七一三  
八六三二〇四七七

昭和三十四年卒

セブンイレブン



代表取締役

佐藤 要

江戸川区松島四四三一一五  
六五五三三六四七

昭和三十八年卒

(株)スズキ・エージェンシ

代表取締役

鈴木 実

港区赤坂三一一二 赤坂ビル  
五八六〇三一一





食は医なり

バランスのとれたお食事をたのしく

中富商事株式会社  
東京YMCAレストラン

292-7241~2

社長 中富 穎隆 昭和19年卒  
中富 光國 昭和12年卒  
監査役 小林 正雄 昭和5年卒

昭和三十六年卒

うなぎ 弁慶

吉原 広次

台東区上野四一五一〇  
八三二二二八三

鰻 かねい

昭和三十一年卒 鈴木 勝

台東区東上野一三三二五  
八三二二二八三

神保町店

昭和三十六年卒 鈴木 隆夫

千代田区神田神保町一五二  
二九一一九二二二

昭和四十二年卒

浦島 寿し

浦本 政明

豊島区東鴨一十二二六  
九四一一四七四二

昭和34年卒

下町割烹 釜 芳

錦糸町すずらん通り  
(634) 4741 (代)  
天麩羅・うなぎ・釜めしご宴会は80名様まで  
橋本 和也

デリカテッセン・ギンザ・オリチャレ

支那 麵 はしご  
中央区銀座5-2-1  
東芝ビルB1F 572-5008  
支那 麵 はしご  
葛飾区新小岩1-50-10  
651-7210



34年卒 小川 靖男  
42年卒 三田 幹男

おしるこ 竹むら

昭和33年卒 堀田 喜久雄

神田店 交通博物館横  
251-2328  
原宿店 ラフォーレ原宿裏  
403-0890

昭和四十七年卒

串焼 若大将  
奥村 健一郎

港区赤坂二一五二二  
五八三〇二四八

昭和四十年卒

松阪肉 松喜

諸橋 良昌

台東区雷門二一七七八  
八四一一二九八三

昭和三十九年卒

鰻・幕の内弁当

神田区  
渡辺 圭一

千代田区猿樂町一三二二一  
二九一一八四八九

昭和34年卒  
福島 正太郎

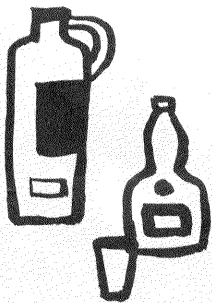


江東区東陽3-5-7

たまに行くなら  
こんな店！  
きがるにたずねて  
みませんか

明高OBのお店たべあるき

ひとひらの枯れ葉が舞い落ち  
てファッションビルの明かりも消  
えて  
凍てついたアヴァンギャルドの  
片すみで  
君とぼくは戯れる  
輝く時代のレリーフを  
想い描きながら



昭和三十四年卒

海老家本店

内木 顕

川口市本町三十四一三  
〇四八二二二二二七六

昭和三十四年卒

来々軒

鈴木 泰全

大田区池上六三三九五  
七五一〇九二六

昭和34年卒



251-9166  
内藤 和衛

〒101 千代田区神田原町1-11

昭和三十七年卒

高砂家製菓

代表取締役  
渡部 孝司

文京区本郷二二七一一三

焼カツ 桃タロー

昭和二十九卒

代表取締役

長谷川 英一

昭和三十二年卒

長谷川 誠二

(アサヒビール)

浅草 雷門  
八四一一〇七三五

昭和三十四年卒

酒処 源平

松下 盤

港区新橋一五一五十七  
五八〇一〇四七六

昭和三十三年卒

よし乃鮎

神林 佳弘

千代田区丸の内二四四一一  
二〇一四一六六

昭和三十四年卒

すき焼 割烹

神田明神下  
いし橋

石橋 義一

千代田区外神田三六六八  
二五一四八四一五

昭和三十四年卒

コーヒー専門店 嶋

村嶋 大三郎

港区赤坂二二二二二  
村嶋ビル1F  
五八三三三八三三

昭和四十二年卒

和菓子製造・販売

有限会社 伊勢屋商店

池田 信義

中央区八丁堀三一八一一一  
五五一四四七四

昭和三十四年卒

カフェサロン 藍

岩崎 與士

千代田区神田小川町三二二〇  
第二竜名館ビル1F  
二九一一六九一〇

昭和三十五年卒

中華 和楽

川 隆

稲城市大丸二一〇  
〇四二二七七七四七四四

昭和34年卒

カフェ・アレグリア

553-5500

株式会社 喜一

代表取締役 山口 喜一郎

中央区入舟2-2-13 山口ビル  
551-2555

編集後記

御下命「B4判12頁建・広告スペース50%以上」。私も専門家ではないが、大学新聞を編集した経験がある。しかし、過去数年の総明会新聞が、入手し、レイアウトを拝見して驚いた。一ページの下半身は全紙面にわたって、いわゆる名刺広告で埋められている。残りの「上半身」で、年一回の同窓生の情報ニュースを掲載する、

そんな構成になっている。与えられたスペースで、読みやすく内容のある新聞作りが、私の仕事であるとなると、とても荷が重い。結局のところ、こんな体裁の新聞になってしまったが、本部をはじめ同期会ニュースや会長、校長先生のご協力など、編集してみても原稿の「集りの良さ」に驚いた。さすが我が明高の結束の固さと感心している。  
(小野塚)